

# 大石田町新春



おおいだ

## 議会だより

No.159

2019.1.25

山形県大石田町ホームページ  
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



携帯・スマホから  
アクセス!



◆第4回臨時会  
(12月4日～7日)



流行の兆し!インフルエンザを避け!!	2
議案の審議「補正予算」	4
災害多発「町の考えを問う」4議員が一般質問	6
追跡「メガソーラー計画のいま」	11
真剣な議論に興味津々!? 大小6年生が議会を傍聴	12
「ふるさと納税」記録更新	14
職人の町の名匠	16

新春に日本一の唄声 (木村里美さん:下宿地区)

発行 山形県大石田町議会

# 12月定例会の **目玉!** 流行の兆し! インフルエンザを防げ!!



増えはじめたマスク姿の子供たち

## 村山7町で助成なしは 大石田町だけ

大石田町の歴史で、子育て支援ではいろんなもので先んじてきたが、インフルエンザ対策では後手にまわった。インフルエンザが流行すると、特に子供は高熱でほかの障害が出ることもある。さらに国民健康保険財政にも響く。

予防注射に対する助成などの対策をしないままできた。県内では、13市のうち5市、22町村のうち19町村が、インフルエンザ予防注射の助成をしている。村山地域7町では、大石田町以外の6町すべてが実施済。

朝日町、大江町は、2回とも2000円から2500円。6か月以上13歳未満の子供は、2回接種が望ましいとされている。1回目の接種は3800円、2回目の接種は2100円、合わせて5900円かかる。毎年度、決算において予防費に不用額を出しているが、それを補正対応すれば予防注射の助成に充てるなど有効に活用することができるとはいえない。

## 「中学3年生に関しては検討する」 町長答弁

受験を控えた中学3年生がインフルエンザに罹患し、受験ができない事態になれば、生涯の大変なハンデにもなりかねない。全額補助を出して、体調を守ってあげることとをぜひ考えるべきではないか。町長は、予算審議の中で「来年度は当初からやる方向で行きたい。」「中学3年生に関しては、(今年度中の対応を)検討したい。」と答弁した。

# 町民の信頼を得られる行政運営を

## 各種施策は『町民ファースト』で

**初** 遠藤 宏司 議員  
動体制がまずかったのでは。

**雨** 岡崎 英和 議員  
で順延の場合をマニュアル化してスムーズな対応を。

町長 意思疎通を図る。

スクールバス事故



実施中止か二転三転した成人神輿(8月17日)

成人みこし

**一般会計補正予算**  
【全員賛成】

ソバ来迎寺在来種

遠藤 宏司 議員  
は。純粋を残すために

町長 種子保存のために白鷺地区でやっていく。



来迎寺在来を堪能できる新そばまつり

小玉 勇 議員  
子の選別業務で純粋にする町と農協の考え方は。

産業振興課長 種子の特定栽培地において生産し、関係者と協議して進めていく。

町長 危機管理対応をきちんとしていく。

角二山 遺跡

関 幸悦 議員  
すばらしくなったが。

教育長 何とか立て直したいと考えている。



冬期間は雪でほこり対策のピロティ

学校のエアコン

村形 昌一 議員  
市町村も導入するなか、業者選定は町内業者を。

教育長 町全体の入札の動向も踏まえる。

中学校のピロティ

岡崎 英和 議員  
ぼこりがひどくなるが、散水栓等の対策は。

教育文化課長 丹念な手入れとホースの延長で対応をお願いしたい。

予防接種に助成

大山 二郎 議員  
インフルエンザの予防接種に助成できないか。

町長 来年度からやる。

国民健康保険

大山 二郎 議員  
児の(※)ロタウイルス予防ワクチンへの助成を。

町長 なるべく検討してみたい。

### 固定資産評価審査委員の選任に同意

齊藤 清さん(井出地区)を大石田町固定資産評価審査委員会委員として任命することに全員が同意しました。  
任期は平成31年1月20日から3年間です。

(※)ロタウイルス感染症  
乳児をはじめ、子どもにも多い急性胃腸炎を引き起こす感染症。3~5月にかけて最も多く発生し、他のウイルス性胃腸炎に比べて感染力が強く、下痢や嘔吐の症状が激しいことが多い。

こんな症状に要注意!!

- 3~8日続く水様性の下痢と嘔吐
- 便の色が白い
- 39℃以上の発熱や腹痛

災害対策補助金

村形 昌一 議員  
温や湯水、大雨に對しての補助金は、農家に周知徹底になったのか。

産業振興課長 2回のチラシ配布のほか、会議で周知した。

少子化

岡崎 英和 議員  
今年度の出生数が28になりそうだが、小学校の統合は。

教育長 本場に統合がいいのかと思っている。

町長 地域における学校ということも考えている。

第4子以降の出産祝い金を手厚くすべきでは。

町長 地方創生等の中で考えていかなければならない。

ふるさと納税

村形 昌一 議員  
度が見直される中、今後の方向性は。

町長 総務省に沿う形で納税額を多くしていければと思う。



歩道が雪で埋まり、狭くなった車道を登下校

冬期間の通学路

村形 昌一 議員  
石田小(役場線の安全確保はどうなる。

建設課長 降雪を前に工事に入ると除雪もできないため来春に繰り越して行う。



# すぐ救急車呼ぶのは あたりまえ

遠藤 宏司 議員

判断ミスがあった  
教育長

**スクールバス事故**  
で、中学校生徒がケガをし、恐怖にさらされる重大な事態、すぐに救急車を呼ぶよう手配しなかったのか。  
**教育長** この度の交通事故により、生徒及び保護者の皆様、更には町民の迷惑をおかけしたことに心から深くお詫び申し上げます。子ども達は全員元気がたと聞いたので救急車を呼ぶような指導はしなかった。

- 10月9日 (火)
  - 7:40 事故発生
  - 7:50 担当職員が運業者に状況を確認
  - 8:20 教育長が登庁し事故の報告を受ける
  - 13:25 負傷・体調不良生徒の保護者へ学校から医療機関受診の依頼
  - 13:30 教育委員会から副町長へ事故の報告
  - 17:30 教育委員会から町長へ事故の報告
  - 19:00 各議員・教育委員に事故概要報告
- 10月16日 (火)
  - 議員に事故の経緯と今後の対応を説明
- 10月23日 (火)
  - 県スクールカウンセラーによる生徒へのカウンセリング (~10/25)
- 12月6日 (木)
  - 12月定例議会「人事権は町長にあるが公務を優先できないものを税金で雇う必要があるのか」一般質問で問う

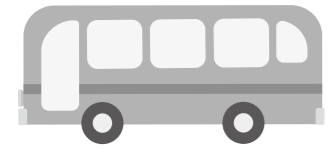
スクールバス事故に係る町の対応

事故直後のケガや精神的ショックを判断や診断することは医療行為に当たり、医師の資格のないものがやれば、医療法や医師法に抵触するのでは。  
**教育長** 当初、我々が軽々と診てしまったという判断ミスがあったことは間違いない。医療行為ということではなく、そのように判断をしたという私の誤りである。  
**精神的ショックを受けた生徒への対応は適切だったか。**  
**教育長** 事故直後に生徒の負傷の有無に関わらず

速やかに医療機関に搬送し受診させるべきだったと自省している。10月22日に、受診していない他の17名を町のマイクログラスで医療機関へ送迎し診察を受けさせた。  
**保護者への対応や議員、町民への対応は適切だったか。**  
**教育長** 議員には、事故当日の夜に連絡を行い、15日及び29日に、乗車していた生徒及び保護者に謝罪し、また18日に中学校の全児童生徒に謝罪した。

**海外渡航の届出**

町の三役が海外に渡航するときには届出をするだけか。受理しないということはあるのか。  
**総務課長** 一週間以上居住地から離れる場合は届け出をするという服務規程はあるが、許可・認可等の規定はない。  
**町で重大な事態が起きているなかで責任者が渡航しているのか。**  
**町長** 判断に誤りはない。国保の負担軽減を一人当たり1万円の国保税引き下げは、1858万円可能。年度末に新たに基金2000万円の積み増しが予想され、1万円引き下げても国保基金に新たに142万円積み増しができる。検討する価値があると考えているが、  
**町長** 年度末の基金残高は1億2000万円の見込み。これまでの経過から、決して十分なものは言えないと考える。



# 町の考えを問う

## 4議員が一般質問



**一般質問とは…**  
議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では4議員が一般質問を行いました。

**小玉 勇 議員**

- ◆黒滝山の土砂流出は人災ではないのか
- ◆メガソーラーはどうなったか
- ◆大橋の橋杭 (パイル) のゴミはどうなったか

9ページ

**遠藤 宏司 議員**

- ◆教育委員会は、的確な判断で児童・生徒・保護者、町民の立場に立った教育行政をおこなうべきではないか
- ◆国民健康保険税、新年度に負担軽減を図る考えはないか

7ページ

**村形 昌一 議員**

- ◆メガソーラー計画はどうなっているのか
- ◆学力テストの状況は
- ◆スポーツテストの結果はどうか

10ページ

**関 幸悦 議員**

- ◆自然災害、人命救助について
- ◆町道の整備について

8ページ



# 町の災害対策は

関 幸悦議員

## 防災計画にのっとっている

町長

### 災害時の対策

全国的に地震などの災害が多発している。当町でも今年の夏、大雨により土砂崩れの被害があった。各種団体との災害協定はどうなっているか。

**町長** 大石田町においても、8月5日から6日にかけて、豪雨に見舞われた。町内各所にて道路や河川での被害が発生している。大雨、土砂災害、大雪、地震などの災害時には、防災計画にのっとり、配備態勢をしている。当町で行方不明者が出ている。県のヘリを出動要請したが難色を示された。

県との協議はどうなっているか。  
**町長** 消防防災ヘリとの協議については、平成10年に「山形県消防防災ヘリコプター応援協定」を知事と県内全市町村長が連名で締結している。各種団体との災害協定についてはどうなっているのか。また、不明者の捜索は。

**町長** 情報提供から物資支援、避難支援、復旧支援、技術支援など18件の協定をしている。今回の小菅地区の行方不明者が、どこにいるのかわからないため、救急・救助活動を主体としている。



県警ヘリ (がっせん) 【青にオレンジのタテライン】



消防防災ヘリ (もがみ) 【白と赤のツートーン】



ドクターヘリ 【白に赤のタテライン】



かまぼこ型に丸く、ひび割れも目立つ。人も車も走りにくい…。

### インフラ整備

町道は、町民の生活道路になっていく。地域からの要望で計画的に整備をしているが、危険な町道もあると思われる。どのように進めていくのか。  
**町長** 平成25年度に「町

防災ヘリでなく、尾花沢警察署を通して県警ヘリの出動要請を行った。天候が不順でヘリの出動はできなかった。

道の路面調査業務」を発注し報告を受けている。路線ごとにヒビ割れ・轍掘れ・平坦性について総合評価により判断している。

**町道田沢坂ノ上線(田沢街道)**は、大変危険な道路と思われるが整備計画はあるのか。  
**町長** 道路予算は、高速道路整備が優先されており、計画は厳しい状況だ。



# 土砂流出の撤去費用は誰が

小玉 勇議員

## 人災の立証は困難だ

町長

### 黒滝山の管理

平成22年所有者が変わったから何回も町道に土砂の流出があった、地権者の管理不足と思えないか。  
**町長** 平成22年に掘削業者へ所有権が移転し、平成23年に県知事より岩石採取計画の認可を受けたが、事業実績もなく、平成26年廃止届を提出し、県から受理されている。廃止後2年間は県が対処し状況を確認、指導することになっている。指導期間の2年が経過し現在



黒滝山の土砂流出現場 (12/19)

に至っている。平成28年8月23日、大雨のためか土砂や倒木等で全面通行止めになった。撤去費用は誰が負担するのか。  
**町長** 町は道路法第42条により土砂の撤去をし、

9月、所有者に「掘削した山林等の排水対策、土砂流出の防止、現場の状況を定期的な点検し管理の徹底」の通知を出した。訴訟を行う場合、人災であることを町側が立証しなければならず、現在の技術では厳しいと考

### メガソーラーへの危惧

用地は450畝とされ、先の黒滝山現場の100倍以上となる。土砂の流出等の危険は計り知れない。町は人災の立証もできず、ムダに公費を支出せざるを得ないと思うが。  
**町長** 具体的な計画が何も示されていないので、意見を申し上げようがない。

### 大橋橋脚のゴミ

数年前の花火大会で灯籠の火がゴミに燃え移ったことがある。県に撤去を申し込んでいるか。  
**町長** 県からは、「今年10月4日から12日の期間で撤去を予定していたが川の増水のため実施できなかった。今後水量が落ちる冬期間に作業をする」との返事があった。



大橋の橋脚に引っかかったゴミ (12/19)



# 各種情報、もっと公開すべき

村形 昌一 議員

広報のあり方を考えてみたい  
町長



勉強もがんばれ中学生！

## メガソーラー計画

町民の土地売買に対しての対応は。  
町長 何もしなかった。環境配慮書の内容は。  
町長 事業者が作成した内容は具体的な計画がほとんど示されていない。今後はどうなるのか。  
町長 環境アセスの方法書の手続きが行われることになる。  
町はどうしていくのか。  
町長 具体的な計画を求めており、町としての意見も提出していきたい。太陽光の売電価格が18円まで下落しているが、そもそも1時時の売電価格

## 全国学力テスト

今年の結果はどうか。  
教育長 小学校は、国語B以外、中学校ではすべて県の平均を下回っている。生活習慣や学習環境は。  
教育長 小学校は、「読書や地域活動」、中学校では、「地域行事、ボランティア活動、新聞」の項目が良いが、小中とも



読む力、書く力の向上に新聞学習

家庭学習時間の少なさに課題が見られた。課題解決のためには。  
教育長 学力向上のため「基礎基本の徹底」と「探求型学習の推進」。また、「家庭学習の充実」を学校・家庭・地域が目標を共有しながら強化したい。  
新聞を使った学習は。  
教育長 中学では書写をして書く力をつけている。15歳で夢を叶えるだけの知識をつける教育を目標としているが現状認識は。  
教育長 学校に愛着を持ち、生きる力も持ち合わせ、非行等の問題もない。

ボランティア活動等、全国に誇れる生徒たちだ。  
スポーツテスト  
子どもの運動能力は。  
教育長 小学生、中学生とも概ね県平均を上回っている。  
大人対象のテストは。  
教育長 町職員と老人クラブの会員27人を対象に実施した。  
保健福祉課やスポーツクラブ等と連携して実施することで健康寿命を延ばすことにつながるのではないか。  
教育長 関係者と相談していきたい。

# 追跡！あれはどうなった？



昨年の実験現場

# メガソーラー建設計画のいま

ユニバージー75合同会社（東京都）が、次年子地区450ヘクタール（東京ドーム95個分）の山林に100メガワット発電計画の記事が新聞に載ってすでに2年ほど過ぎている。

10月5日、町が求めていた4項目の質問に対する回答書の提出があったこと、11月14日、会社が提出した環境配慮書に対する町長意見を吉村県知事に送付した等、部分的に数回記事になっていくが、全体像が見えてこない。



町民の関心も大きい（議会傍聴の様子）

県の許可なしで伐採し作業道を開設した事に対し、原状回復を命じられているとも聞く。  
450ヘクタールもの広大な山林を開発するとより、生物、景観はもとより、土砂災害のおそれも大きい。  
町は、「会社からの具体的な計画は示されていないので、何もわからない

のが現状だ。」と言うが、我々の心配の種になっていることは事実。  
是非、町民に対し、今後の大まかな流れと町のスタンス（態度）を話す機会を作ってもらいたい。同じように、飯豊町北部の民有林620ヘク

タール（東京ドーム130個分）で200メガワット発電の計画もあり、2つの町の民度が試されているかのように思う。  
（記 小玉）

## 表紙の写真

木村里美さん（下宿地区）は、宮城県涌谷町で開催（11月11日・12日）された第34回「秋の山唄」全国大会で見事に優勝しました。涌谷町とは、友好交流協定を結んでおり両町民にとっても喜ばしい結果となりました。  
（記 芳賀）

涌谷町広報の表紙を飾りました！！



新春祝賀会で唄う木村さん親子





大石田町を良くしていこうと話し合っています

議会を見るまでは簡単なものだろうと思っていました。60分間の議論は短く感じました。難しかったけど知らない事が分かりました。  
石山 陽愛

少し難しい内容で、議員はいつもこのようなことをしているのだなと実感しました。とてもいい経験になりました。  
加藤 慶人

メガソーラー計画やスポーツテストの事など真剣に議論していて、とても勉強になりました。  
五十嵐 嶺

私の住んでいる大石田の事がこの議会で決まっているんだなと思うとすごい事なのだなと思いました。  
森 妃那



質問席から質問する村形議員

議場にタイマーが設置されていて驚きました。時間制限など関係なく話し合いが終了してから終わるものだと思っていました。  
小林 あぐり



議会を見学して、質問席がある事、質問に答える人がいる事が分かりました。  
井上 彩

一番に残ったのは全国学力テストについての話です。中学進学に向けて頑張らなければと思います。  
高橋 煌

発言の時「であります」と言うのが不思議でした。議会議事録に載ってないんだなと思いました。  
落合 翔大

祖父が、昔議員をしていたので見学が楽しかったです。難しい内容でしたが、祖父も同じような事をしてたんだなと感心しました。  
加賀 祐一

国会中継を見るとよく大きな声で批判したりすごく怖いイメージですが、町議会はすごく平和だと思います。  
西尾 翔太

初めて議会を見学して、「○○○君」とフルネームで呼ぶのが不思議でした。とても勉強になりました。  
奥山 賢汰郎



興味を持ってもらえたかな？

議員からひとことー  
難しい言葉が多かったと思いますが、真剣に聞いてくれました。私も皆さんの前で質問するのに少し緊張しました。いい学習になれば幸いです。  
(記 村形)

# 真剣な議論に興味津々!?



議員に負けない真剣なまなざしで熱心にメモを取っていました

## 大石田小学校6年生が議会を傍聴

議場に入るのも、議会を見学するのも初めてで、どっしり話をするのがワクワクしました。メガソーラーや学力テスト、スポーツテストの事など、わかりやすく話して頂きありがとうございました。  
延藤 昂生

議会を傍聴してみて、とても大変な仕事だとわかりました。教育長が、答弁の中で「新聞を読んだ後に感想を書くことで、論理的に書く力が付きます」と言っていたので、これから毎日読もうと思いました。  
富樫 瑠奈

学力テストやスポーツテストについての質問に、教育長は、ハードルの飛び方に例えて答えていました。どのタイミングで足を上げればいいのか自分で考えて行動に移す事が大切だと話していました。  
永登 拓海

12月定例会3日目(12/6)に、大石田小学校6年生が来庁し議会を傍聴しました。初めて入る議場に緊張しつつも、議論には熱心に耳を傾けていました。紙面の都合上、皆さんの感想を要約してご紹介します。(順不同)

町の事や、小学校、中学校の事などいろんな議論をしていました。一つの質問に何回も答えたり、発言時間が決まっていたり、発言時間が見てみたいです。  
森 卓樹

今まで議会には行ったことがなかったし、これからは関係ないと思っていましたが、私たちの事を一生懸命考えてくれていて、日々幸せで安心安全の町で暮らせるのは議会での話し合いがあるからだと思います。  
横山 理那子

一番印象に残ったのは、学力テストの議題の中で「6年生の勉強で中三の問題が解ける」ようになるというところでした。しっかりと今の勉強を予習・復習し、ノートをとる事が大切だと思いました。  
山田 のん

初めて町議会を見学して、以前やった学級討論会と似ているなと思いました。私たちにも強く関係する事なども話し合われるのを知り、議会をより身近で大切に感じるようになりました。  
鈴木 佑奈

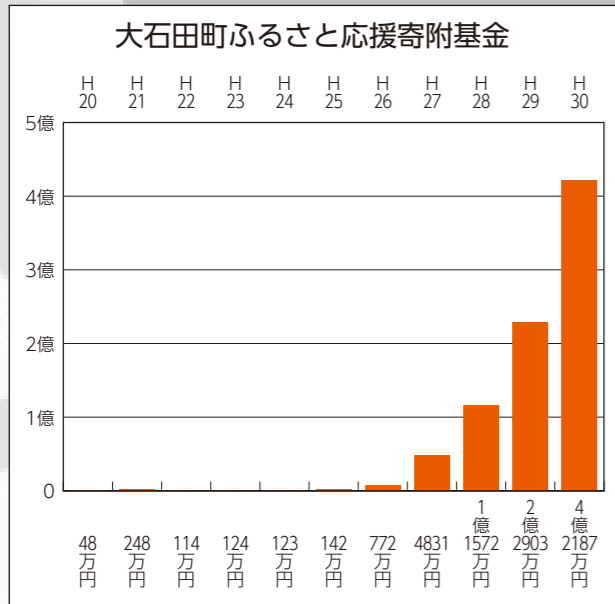
質問する議員は、発言の時に手を挙げ、ハキハキと理解しやすいと思いました。大石田町を今よりも良くするために議会があるんだなと改めて思いました。  
小川 柚那

町の議会を見て、名前を呼ぶとき「○○君」と呼び、テレビで見た国会のようでした。難しいと思っていましたがちょっとだけわかりました。  
菊地 蓮太



# たくさんのご寄附をいただきありがとうございます

## 前年比184% UP!!



平成23年度から徐々に増え始めた寄附金額は、以降、前年比でほぼ倍額というかたちで推移しています。平成30年も前年比184%となり4億2000万円（12月末時点）を超えました。

この寄附金は、返礼品のほか「ふるさと応援基金充当事業」として、道路消雪ポンプ交換や駅自動ドア設置工事、小学校の電話設備更新、図書館の蔵書整備、定住促進への助成等、町の生活基盤、教育・文化、生活環境・福祉の分野で役立てられました。

### 平成30年人気返礼品TOP5

(件数順、12月末現在)

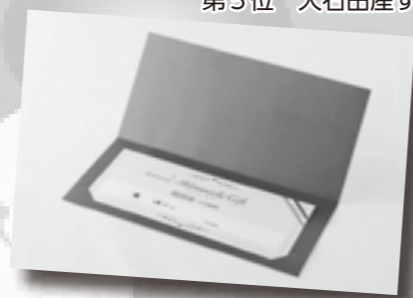
- 第1位 赤坂あじさい  
「魚塩麴漬・西京漬詰合せ」(4,375件)
- 第2位 井上喜太郎商店  
「山形牛肩ロースすき焼き用」(1,397件)
- 第3位 レストランヒロミチ  
「お食事券2つ星コース」(980件)
- 第4位 紀文  
「和風おせち三段重陽月花」(892件)
- 第5位 JAみちのく村山  
「大石田町産尾花沢すいか5L×2玉」(859件)



第4位 紀文のおせち



第5位 大石田産すいか



第3位 お食事券



寄附者との交流事業も実施

いつも応援してくださり誠にありがとうございます

「水と緑と文化のまち」大石田町は、最上川を中心に悠久の昔から貴重な舟運文化を継承し、発展してきました。

しかしながら急速な少子高齢化の波に社会情勢が大きく変化している今、先人から受け継いだ素晴らしい財産を次世代に伝えていくことが私たちに与えられた重大な使命であると考えます。

そのために私たちは、未来に誇れるより良い町を創造していかなければなりません。

皆様の温かい応援とご期待に沿えるよう「生活基盤」「教育」「文化」「生活環境」「福祉」「子育て」「産業経済」「観光」等、多くの分野で「安全・安心・暮らしの豊かさを実感できる」まちづくりとなるよう全力をあげ取り組んで参ります。（ふるさと納税担当者）



返礼品 第1位「赤坂あじさい」の詰合せ（店主：佐藤弘治さん 仲通出身）



第2位 山形牛肩ロース

# 感謝!

ふるさと納税（正式名称「ふるさと応援寄附金」）がはじまってから10年になります。

寄附者、自治体、生産者の三方良しのこの制度は、議会でも町の取り組みについて度々質問してきた経緯もあってか、町への寄附金額は順調に伸びています。

近年は、自治体間の返礼品競争が過熱気味で、総務省も高額品や返礼率3割を超えるもの、地場産品以外のものは対象外とするなど、指導が厳しくなるようではあります。が、資源に乏しい我が町では、寄附者に対し寄附金のユニークな使い道などをPRして今後も積極的に取り組んでいきたいと強く望みます。

# 過去最高額4億円を突破!!

# 感謝!



# 職人の町の名匠 たくみ

第3回目 (左官業)

東町地区 **伊藤 富夫** さん

**どうしてこの職業につかれたのですか？**

自分は次男で、本家出身で長野にいる左官職人に弟子入りしたことがきっかけです。

**この仕事をはじめて一番思い出に残る作品は？**

30数年前に携わった弘前城近く、現在の「青森銀行記念館」の建物です。外壁が総漆喰で、岩木山をイメージした色合いで仕上げたことです。

**これからの職人にアドバイスすることは？**

左官業だとすれば、平らにならす事は簡単に取得出

「職人の町・大石田」は永年築きあげたブランド。このページではその職人さんを紹介していきます。



今年の干支も鏝絵で

- 昭和11年2月24日生まれ 81歳
- 家族構成 本人、妻、長男、長女の4人家族 (☎35-2867)
- 数々の見事な鏝絵作品も、町内外至る所に展示されています。鏝絵で作る干支の色紙も好評です。



見事な総漆喰の青森銀行記念館 (重要文化財)

来るが、苦勞しながらその先の技術を身に付けてほしいです。**大石田町への要望はありますか？**

人口減少は避けられない課題だが、職人が技を継承出来るような環境の町であってほしい。

**議員からひと言**

大臣表彰や県知事表彰など、数えきれないほど受賞してきた匠が危惧しているのは、後継者が育ちづらい現状との事。  
(記 岡崎)



(作品) 役場の2階から見られます



(作品) 中学校玄関ホールには斎藤茂吉

## 編集後記

「平成」の最後を飾る新しい年が明けた。この30年を振り返れば、良い事も悪い事も、皆それぞれ数え切れないほどたくさん出来事があったと思う。個人的に強く印象に残っている出来事は、『東日本大震災』である。日本の有史以来、類を見ない未曾有の大災害となった。しかし、わが町に限ってみれば、この30年の間は、大きな災害は無かったと記憶している。「大きな台風が度々来る訳でもなく、土石流が襲う訳でも、津波がやって来る訳でもない。雪ぐらいは我慢するか。」世間話をするとよく耳にした言葉である。このまま全ての町民が、残り4か月の平成の時代を大過なく駆け抜けることができるよう、心から願うばかりだ。  
(記 岡崎)

- 広報常任委員会
- 委員長 村形 昌一
  - 副委員長 岡崎 英和
  - 委員 小玉 勇
  - 委員 遠藤 宏
  - 委員 芳賀 清